

2011

ONE&TWO大会特別規則書

ONE & TWOフェスティバル・X-GATE

第1条 競技会の名称

ONE & TWOフェスティバル(承認レース)

第2条 主催者の名称

主催 ONE & TWOクラブ(MFJ承認クラブ)

共催 (株)オートポリス

参加受付事務局 モト・スポーツヒロセ

〒862-0963 熊本市出仲間7丁目14-1

TEL.096-379-8355 FAX.096-379-8366

第3条 開催場所

オートポリスサーキット

〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8

TEL.0973-55-1111 FAX.0973-55-1113

第4条 開催日

ONE & TWOフェスティバル 春の大会 2011年 4月17日(日)

ONE & TWOフェスティバル 秋の大会 2011年10月16日(日)

※九州ロードレース選手権と併催。

第5条 大会組織

公式通知または公式プログラムに示す。

第6条 参加資格(レースのみ)

1. 当該年度有効なMFJロードレース競技ライセンスを所有する者。(国内ライセンス以上)
2. レース前日以外の練習走行の場合、暫定ライセンス必要。事務局受理書到着時よりライセンスを発行。(暫定ライセンス¥5,000 走行料プラス¥1,000) 土曜の特別スポーツ走行のみ参加のオートポリスコースライセンス無しエントリー及びオートポリス初参加エントリーは土曜日に行う講習会に必ず参加しなくてはならない。(土曜日の午前、午後1回ずつ開催予定) 講習受講者のみオートポリスライセンス、暫定ライセンス無しの特別練習走行及びレース参加を認める。(走行料¥1,500プラス)

第7条 エントリー 参加申込方法及びエントリー期間

1. ONE & TWO事務局専用の郵便振込用紙に参加料金額を記入し、郵便局にて参加料を振り込み、払込受領書を受け取り、必要事項を記入したエントリー用紙に、先に手続きをした払込受領書を添付して、モト・スポーツヒロセ内ONE & TWO受付事務局へ郵送または持参すること。
 2. 主催者より送付された申込用紙に記載事項のすべてを記入し、競技規則を厳守することを誓約しなければならない。
 3. 満20歳未満のライダーは参加申込書の誓約書に親権者の署名捺印とその印鑑証明書を必要とする。(署名捺印、印鑑証明のない場合は参加申し込みを受理できません。)
 4. 電話による申し込みは受け付けない。問い合わせは午前10:00～午後5:00まで
 5. 参加料
ONE & TWOフェスティバル(スプリントレース)参加料(参加車両1台) 17,500円
 6. エントリー申込用紙は所定の用紙を使用すること
(必要事項は確実に明記すること。払込取り扱い票用紙は最寄りの郵便局においてある用紙をご使用下さい。)
 7. ダブルエントリーの場合は、参加料15,000円が追加される。
- 【注】混走クラスがあるために、ダブルエントリーの受理ができない場合があります。
【注】ONE & TWOフェスティバルレースにおいて、参加申し込み期間を1日でも過ぎると、参加料(参加車両1台)に10,000円の追加料を支払わないと受理できませんので、ご注意ください。
追加料金でのエントリー最終期日は大会前15日とする。

●エントリーは当日消印有効とする。

●レースエントリー期間

ONE & TWOフェスティバル春の大会 3月10日～3月25日(金)

ONE & TWOフェスティバル秋の大会 9月 8日～9月23日(金)

第8条 ピットクルー

当該年度有効なMFJピットクルーライセンスを取得している者。ライダー1名につき必ず1名申請すること。(1名以上4名以内) 申し込み時ピットクルー登録がない場合、参加受理が出来ません。

【注】MFJピットクルーライセンスの無い者(16歳以上)でも、レース参加の受理は行いますが、ピット内だけのヘルパーとなります。レース中のピットロード、ピット作業エリアへの立ち入りは出来ません。

※エントリーライダー同士のピットクルー登録は認めない。

第9条 参加受理・参加拒否

1. 参加申し込みの受付締切後に参加者宛に正式受理または拒否の通知を送付する。
2. 参加を拒否された参加者に対しては、参加料及び保険料を返還する。(ただし、エントリー締め切りより一週間以内とする。)
3. 一旦正式受理された参加料は一切返還しない。
4. 主催者は参加者に対して、その理由を明らかにすることなく、申し込みを拒否または無効とする権限を有する。

第10条 公式通知

1. 本規定に記載されていない競技運営に関する実施細則および参加者への指示事項は公式通知によって示す。
2. 公式通知は大会開催日の前日までに参加者へ送付する。開催期間中に発表されたものに関しては大会事務所に掲示する。

第11条 開催クラス

1. 総合車両規定及びMFJ競技規則に合致している車両。
エキスパート・オープン205・オープン210・オープン215・オープン220
OVER40・OVER50・OVER60
2. ゼッケンナンバーは主催者により決定され参加受理書に示す。(指定はできない)
3. ナンバープレートの取り付け場所、方法、字体はONE&TWOフェスティバル大会特別規則及びMFJ国内競技規則に準じる。
【注】1. 書体はONE&TWOフェスティバル大会特別規則及び2011年MFJ国内競技規則書を参考に作成する事。
2. 各開催クラスの車両規定は、総合車両規定及び付則を参照の事。

第12条 ライダーの装備

1. ヘルメットはフルフェイス型でMFJ公認の物もしくはDOT/スネル規格、又はそれと同等の規格を有する物に限り、それを証明するステッカーまたは、証明書が必要となる。
2. 皮革製のレーシングスーツでMFJ公認の物に限る。
3. 皮革製のレーシンググローブ、レーシングブーツを使用する事。
4. ヘルメットリムーバー着用義務付け。

※皮装備の破損がある場合、又は破損が大きく修理不能と判断された場合、出走を認めないものとする。

※ヘルメットは有効期限5年を過ぎている物は不可とする。5年を経過した製品は内部構造の劣化による安全性の問題からONE&TWO フェスティバルでは5年以内と定める。

※ヘルメットの製造月日が不明なものについても出走を認めないものとする。

※レーシングスーツに脊柱プロテクションが装備されていない場合、別体の脊柱プロテクション装着が必要。

●脊柱プロテクション…外側は硬質の樹脂製で内側は衝撃緩衝の素材でなければならない。

※胸部を保護する胸部プロテクションの装着が義務付けられる。

第13条 ライダー及び車両の変更

1. ライダーの変更は認めない。
2. 車両の変更は原則として認められない。変更する必要性が生じた場合は、所定の書式にて変更申請を行い、競技監督がこれを認めた場合に限り車両の変更が認められる。
エントリー終了後から公式車検終了前までの車両変更手数料は¥5,000とする。
3. 変更した車両は必ず車検検査を受けること。ONE&TWOフェスティバル大会特別規則及びMFJ国内競技規則に準ずる。

第14条 公式車両検査

ライダーは定められた時間に車検場において車両の検査及びライダーの装備の検査を受けること。検査終了後に車検ステッカーが無い車両は走行出来ない。

第15条 公式予選

1. 決勝スタート定員及びスタート位置を決定する予選を行う。
2. 義務周回数は特に設定しないが、原則的に1周回はラップタイムが計測されなければならない。
3. 決勝基準タイムを設定する場合がある。
4. 決勝出走台数は48台とする。
5. 予選タイムが極端に遅い選手は、大会審査委員会により決勝レース出場について審議され、出走を中止させる場合がある。

第16条 決勝

1. スターティンググリッドは公式予選の成績により予選終了後発表する。
2. スタート方法は公式通知に示す。
3. スタート進行の詳細は公式通知又は、ライダーズミーティングにて発表される。
4. 競技周回数は公式通知によって示す。
5. レース中の信号合図及び競技終了の合図はMFJ国内競技規則ロードレース競技細則に準ずる。
6. レースの終了はトップの走者がゴールインした後5分経過した時である。

第17条 車輛保管及び最終車輛検査

1. レース終了後、入賞車輛は、暫定結果発表後30分以上保管される。
2. 保管した車輛は必要に応じて分解検査を行う場合があるが、分解検査を行う場合は、そのライダーもしくはピットクルーによって行う。
3. 再車検により規定違反及び、分解検査を拒否した場合は失格となる場合がある。
4. 車輛保管が解除されたらその車輛をライダーもしくはピットクルーが速やかに引き取る。車輛保管解除発表後、保管車輛の責任は一切負わない。
5. ライダーとピットクルー以外は車検場の立ち入りを禁止する。

第18条 優勝者・入賞順位及び完走

1. 優勝者は規定の周回数を最短時間で完走したライダーである。
2. 優勝者の周回数の75%(小数点以下切り捨て)以上を完走ライダーとする。
3. ピットロードでのゴールは、周回数には積算されるがチェッカーを受けたとは認められない。
4. レース途中でリタイアしたライダーも完走周回数を完了しているライダーは完走者とみなされる。
5. 完走者でチェッカーを受けた者の中から周回数の多い順に決定され、同周回数の場合はゴールラインの通過順位による。
6. タイムレースの基準タイムは、「開催クラス」の「2. オープン205、210、215、220参加資格特記事項」に示す内容とする。
7. その他、規定については公式通知に定める。

第19条 暫定結果及び正式結果

1. 各レース終了後、暫定結果が発表され30分以上経過後、正式結果が発表される。
2. 正式結果に対する抗議は一切認められない。

第20条 賞典

公式通知及び付則に示す。

第21条 レースの延期・中止

レースの中止の場合は事務手数料として5,000円を差し引いた12,500円をエントリー者へ返還する。延期の場合は、大会事務局より、公式結果にて発表する。

第22条 抗議

MFJ国内競技規則に準ずる。尚、車輛の分解検査に要した費用はその講義が不成立の場合は抗議者が支払うものとする。この車輛の分解等に要した費用は車検長が算定する。

(抗議保証金1項目につき10,000円)

第23条 燃料

原則的に主催されるサーキット内のガソリンスタンドにて購入したものでなければならない。

1. 使用する容器と、その取り扱いについては消防法に準ずる。
2. MFJ国内競技規則に定めるガソリンのみを認める。
3. 燃料等燃えやすいものの近くで火気の使用は厳禁とする。火気の使用は認められた場所でのみ使用可能である。(特にピットボックス内、パドック付近での喫煙、ガスコンロ等の火器の使用は厳禁とする)

第24条 損害の補償

MFJ国内競技規則及びオートポリスサーキット規則に準ずる。

第25条 競技規則の違反行為に対する罰則

競技開催中における違反行為に対しては、その軽重によって大会審査委員会ならびに競技監督の権限で罰則を科すことが出来る。内容はMFJ国内競技規則に準ずる。

第26条 参加者の遵守事項

1. すべての参加者は、競技会期間中は競技役員の指示に従わなければならない。
2. 参加者は、競技中または競技に関する業務についている時は、薬品等により精神状態をつくろったり、飲酒してはならない。
3. 喫煙は指定場所のみ可能。許された場所以外での喫煙は厳禁とする。
4. 参加者は主催者や大会後援者、大会審査委員会の名誉を傷つけるような行動を行ってはならない。
5. 参加代表者は自身の行動はもちろん、自チームのライダー、ピットクルー、ゲストなど全員の行動について責任を持たなければならない。
6. 時間の厳守 ライダーズミーティングやスタート前チェックの時間に遅れないこと。
7. ピットボックス内でのエンジン空ぶかし禁止。ウォームアップ場にて行う事。(レース当日)
8. パドック内でのエンジン走行禁止。(レーサー、スクーター等エンジンのついた物の使用禁止)
9. 発信器使用の際は誓約書を提出すること。

第27条 ポイントランキングについて

(廃止)

第28条 主催者の権限

1. 参加申し込み受け付けに際して、その理由を示すことなく、参加者、ライダー、ピットクルーを選択あるいは拒否することが出来る。
2. 大会スポンサーの広告を参加車輻に貼り付けさせることが出来る。
3. 公式プログラムの印刷に間に合わなかったライダーの出場を許可することが出来る。
4. 招待したライダーを決勝レースに出場させることが出来る。
5. すべての参加者、ライダー、ピットクルーの肖像権および参加車輻の音声、写真、映像など、報道、放映、放送、出版に関する権限を第三者が使用することを許可出来る。
6. 大会にふさわしくない車輻が見受けられた場合、練習走行の時点から大会中に至るまで、主催者の判断で走行を中止させることが出来る。
7. 大会前日、大会当日において、主催者およびオフィシャルなど大会関係者に対し、「暴言や暴力」などを行った場合には即時退場を命じることが出来る。

第29条 大会役員の責任

参加者、ライダー及びピットクルーは大会役員が一切の損害賠償責任を免ぜられていることを承知していなければならない。大会役員はその職務に最善を尽くすことはもちろんであるが、もしその行為によって起きた参加者、ライダー、ピットクルー及び競技車輻の損害に対して大会役員は一切保証責任の無いことを言う。

第30条 本特別競技規則の解釈及び施行

本大会競技規則の解釈及び判断の混乱が生じた場合、MFJ国内競技規則に基づいた大会審査委員会の解釈を最終のものとする。その他競技規則については、MFJ国内競技規則に基づく。

本規則は2011年1月1日より有効となる。

ONE & TWO フェスティバル 総合車両規定

車両は安全のために次の項目をすべて満たしていなければならない。

(1) ブレーキ

車両は前後にそれぞれ独立した有効なブレーキを備えなければならない。ドラムブレーキをディスクブレーキに交換することを認める。(ただし、同一車種に限る)

キャリパーサポートはすべてワイヤーリングを行う事。

(2) リム及びホイール

最小リム直径16インチまでとし、最大リム直径は19インチまでとする。

(3) ハンドルバー

① ハンドルの端から端までの幅は450mm以上でなければならない。

② ハンドルの回転角度は、左右それぞれ20度以上でなければならない。

(4) ハンドルバーのクリアランス

① グリップ部およびレバーとカウリングとのクリアランスは20mm以上であること。

② ハンドルを左右いっぱい切った時ライダーの指を挟まないように、ハンドルバーと燃料タンクのクリアランスは30mm以上であること。

(5) メーター

① タコメーターは取り付けることが望ましい。

② ケーブルを含む改造、変更は認める。

(6) スロットルコントロール

スロットルコントロールは手をはなすともどる方式でなければならない。

(7) クラッチレバー及びレバー

クラッチレバー及びブレーキレバーの末端は、直径19mm以上の球形で容易に取れたり外れたりするものであってはならない。このボールを平たくすることも認められるが、いかなる場合においてもその短部に丸みを持たせることが必要である。(この平たくした部分の厚みは少なくとも14mmとする。ピボット点からボールの端まで測った場合のコントロールレバーの長さは、200mmまでとする。)

(8) フットレスト及びブレーキレバー

① フットレストは、前後車両の中心を通過する線の100mm上方より下側に、そして後軸の中心を通過する垂線の前側になるように取り付けられ、どのコントロールペダルも容易に操作出来る位置になければならない。

② フットレストの先端は安全上半径8mm以上に丸められていなければならない。

(9) 排気系

排気は全て車両の後方に排出されなければならない。排気管の短部は少なくとも30mmの長さで、車両のセンター軸と水平かつ平行に近くなければならない。また、排気管は後輪最後端垂線より突出してはならず、排気がほこりをたてるように排出されたり、タイヤやブレーキを汚したり、後続のライダーに迷惑を与えないようにしなければならない。

(10) 音量規定

MFJ方式による測定方法で行う。

全クラス105dbとする。(終了後は+5dbまで認める。)

(11) フェンダー

フロントフェンダーは取り付けしていなければならない。

カウリング仕様の場合は取り外し可能。

(12) シリンダー

シリンダーのキャスト(鋳造)を変更することなくボアを拡大することが出来る。

(13) 車両の傾斜角

車両の傾斜角度は無負荷でタイヤを除き、どの部分も接地することなく、垂線に対して50度傾斜させることが可能でなければならない。

(14) カウリング

カウリングを使用する場合は、次の条件を備えたものでなければならない。

① タイヤを除く前輪は両側に明瞭に見えなければならない。

② カウリングの下端に地面との間隔は100mm以上でなければならない。

③ ライダーが普通に乗車した状態でライダーの両前腕部以外は上方、後方、両側から見えなければならない。ライダーの顔面またはそのヘルメットとカウリング(ウインド・スクリーンを含む)との間の最小限スペースは100mmとする。

- ④後方に面しているカウリングのいかなる部分も、その端部を少なくとも半径3.5mmの丸状にしなければならない。後方に面しているウインド・スクリーンの端部には、ガードを施して切り傷を負う恐れのないようにしなければならない。
- ⑤エアフィルム又はスポイラーは、それらがフェアリングまたはシートの不可欠部分である場合に限り取り付けられることができる。これらの装置の幅は、フェアリングの幅をオーバーしてはならず、又、その高さはハンドルの高さをオーバーしてはならない。ふちのとがった部分は少なくとも8mmの丸みを持たせなければならない。
- ⑥上記の適用を避けるために透明な物質を使用することは出来ない。
- ⑦カウリングの前端部の形状はMFJ国内競技規則の図で示す範囲でなければならない。
- ⑧後輪の可視範囲
後輪のリムは後輪軸の垂線の後部円周180度にわたって明瞭に見えなければならない。

(15)部品の最後端

いかなる部品も後輪最後端垂線より突出してはならない。

(16)オイル・水・ドレンプラグ

全てのオイル・水・ドレンプラグは確実に締め、ボルトは安全の為にワイヤーロックをしなければならない。カートリッジタイプのオイルフィルターはワイヤーロックをしなければならない。

(17)燃料、オイルフィルターキャップ

燃料、オイルフィルターキャップは閉じた状態で漏れる恐れがあってはならない。さらに、いかなる場合においても誤って開くことのないように、完全にロック又は、ワイヤーロックされていなければならない。

(18)燃料タンク・ブリーザーパイプ

燃料タンク・ブリーザーパイプを取り付ける場合は、ノン・リターンバルブを燃料タンク・ブリーザーパイプに取り付けなければならない。これらは、適切な材質の最小限容量250cc以上のキャッチタンクに排出式とする。ブリーザーパイプはクリップ又はタイラップで固定すること。

(19)オイルキャッチタンク

転倒時に容易に脱落したり破損せず、金属製の物及び、それと同等の強度を有するものでオイルがこぼれないように、確実に取り付けられなければならない。また、スタート時に必ず空にしておかななければならない。容量は排気量以上とする。2stの統一ミッションオイルのキャッチタンクは、金属製以外の物でも可。

(20)燃料タンク

燃料は、車輛にしっかりと固定されたタンク内に収めるものとする。シートタンク及び補助タンクの使用は禁止される。タンクに防爆材を完全に充填すること。ただし、車輛公認時燃料タンクに一切の改造、変更のない場合は、この条件を免除される。ファイバー類製作のタンクは不可とする。ただし、新車時装着車は免除される。

(特例) レースエントリー前に車検長の許可を有する車輛に対しては可とする。

(21)次の項目は使用を禁止する。

- ①すべての過給装置の使用。
- ②フレーム、フロントフォーク、スイングアーム、ハンドルバー、ホイールスピンドルにチタニウムの使用。
- ③ホイールスピンドルに軽合金の使用。
- ④オフロード、モトクロス、トライアルタイヤの使用。

(22)取り外さなければならないもの

ライト類、バックミラー、スタンド類、荷台、公道用ナンバープレート

(23)取り付けなければならないもの

①レースゼッケンプレート

《ゼッケンプレートの大きさ及び取付方法》

前面に1枚、30度以内の角度をつける。左右最低幅275mm以上、上下最低幅200mm以上

車輛の左右にも各1枚垂直方向に取り付ける。左右最低幅275mm以上、上下最低幅200mm以上の長方形でシャープなエッジ等危険性のないもの。

②以下の部品には必ずワイヤーロック又は割ピン等のゆるみ止めをすること。

- ・エンジン及びミッションのドレンボルト ・オイルフィルターキャップ
- ・前後ホイールスピンドル及びナット ・オイルエレメント取り付けボルト・ナット
- ・冷却水ドレンボルト類 ・マフラー類のジョイント及び、スプリング部
- ・ブレーキキャリパー及びキャリパーサポートを止めているボルト類

ワイヤーロックが出来ない個所については部品等が脱落しない確実な方法をとること。

(まし締め、ゆるみ止め剤の塗布等を行い、布ガムテープでしっかりと固定すること。)

(24) 車輻の冷却水について

- ・水冷式の車輻については、クーラント(不凍液)の使用を禁止する。
ラジエターの中は水又は水とアルコール混合液に交換すること。
- ・ラジエター、ブリーザータンク
適切な材質の最小限容量250cc以上のキャッチタンクに排出式とする。

(25) 危険防止

危険及び迷惑をおよぼすような改造を行ってはならない。公式車検において危険と判断された車輻は出走出来ない。

(26) タイヤ

タイヤは各クラス規定による。MFJ公認のレーシングレインタイヤは使用可。磨耗限度を超えたもの、及びグルーピング、カッティングは禁止する。

(27) オープントランスミッションガード(リアスプロケットガード)

チェーンとリアスプロケットの間に、身体の一部が誤って挟まれる事が無いように、リアスプロケットガードを取り付けなければならない。必ずボルト締めタイプとする。
すべてのクラスに装着が義務付けられる。

(28) アンダーカウルまたはアンダートレイ

4ストローク車輻については、エンジンの破損または、故障時に、そのエンジンに使用されているエンジンオイルおよびエンジンクーラント総量の最低半分を保持できる構造になっていなければならない。フェアリング下部(オイル受け)端部は、一番低い所から最低50mmの高さがある事が推奨される。

●オープン205・エキスパートクラスについては義務付けとし、その他のクラスは強く推奨事項とするが、ショップ所有のBIKEについては義務づけとする。

(29) キルスイッチ

ハンドルを握ったまま操作できる位置にキルスイッチを付けなければならない。

開催クラス及びライセンス区分

クラス	排気量(cc)	ライセンス区分	ゼッケンの文字・色分け
エキスパート	248cc以上	国内・国際	色分け: ナンバープレートに付いてを参照。 文字: MFJ競技規則書指定文字並びに、オートポリスにて販売されているサイズと書体とする。 ※「蛍光色」不可。
オープン205			
オープン210			
オープン205・オープン215 オープン215		国内	
qw オープン210 オープン220			
オープン220			
OVER40	124cc以上	国内・国際	
オープン220 ・OVER50……OVER60			
OVER50			
OVER60			

各クラス車輻規定

4サイクル400cc仕様の車輻

1. 出場車輻

車輻は一般市販生産型(市販レーサーを除く)で、4サイクル400ccまでのバイクであること。
(空冷、水冷、油冷を問わず)

2. 改造の限度

1. 排気量248ccを超える4サイクル、2気筒及び4気筒の車輻。
2. メーカー出荷時、エンジンは空冷、水冷、油冷の車輻である事。
3. メーカー出荷時、リヤスイングアームのサスペンション方式は、2本サスタイプまたは1本サスタイプの車輻であ

り、そのサスペンション方式は変更可とする。

4. タイヤは一般購入できる公道用タイヤとする。
 5. フロントフォークの関連部品の変更は可。
 6. スイングアームの構造変更・改造・補強は可。
 7. エンジンの型式変更は禁止。
 8. ホイール、キャブの変更は可。
 9. ボアアップ、ストロークアップは可とする。また、シリンダーヘッドに関しては改造なしで装着できるならば、可とする。
 10. 音量は105dbとする。(レース終了時は+5dbまで認める)
 11. エンジン及びフレームの型式を不正に打刻した車両はレース出場を禁止する。
 12. フレームはメーカー出荷時のままとする。ただし2本ショックを1本ショックに変更することは可とする。この逆も可とする。
3. その他重要事項
変更、改造に関して、危険な突起、取り付け箇所があり、走行に不相当と判断された車両は出走を拒否する必要がある。改造規定に適合しない車両または性能に著しく差が生じる車両は、大会特別規則にてクラス分けを決定する。

エキスパート及びオープンクラス

1. 出場車両

すべての車両は、一般生産型モーターサイクルとする。2サイクルエンジンについては248cc以上とする。

2. 改造限度

- ONE & TWOフェスティバル大会特別規則書の総合車両規定及び各クラスの改造限度に適合しているもの。
- フレームはスチールフレーム、アルミフレームともメーカー出荷時のものに限る。(但し、エキスパートクラスについては製造国、製造者についての制限は無い)
- フレームの基本骨格構造変更は禁止。但し補強及びステー類のカット、リヤスイングアームのサスペンション方式の変更は認められる。
- クランクケース型式の変更及びエンジンの載せ替えも可とする。但し、車検にて走行に不相当と判断された車両の出場については拒否する。
- レーシングレインタイヤの使用は可とするが、スリックタイヤの使用は不可とする。
(但し、エキスパートクラスについてはスリックタイヤ使用可とする。)
- 音量は105dbとする。(レース終了後は+5dbまで認められる。)
- エンジン、キャブレター(インジェクション)、エアクリナーボックスがノーマル車両の場合においては、オイルキャッチタンクは不要とする。
- 水冷の車両は、水又は水とアルコールの混合液に交換すること。クーラント(不凍液)の使用は不可とする。

3. ゼッケン色

蛍光色を除く対照色であれば自由。

車検時、判読しにくいと判断された場合には、修正が要求される。

※ゼッケンNo.の字体及び書体は、ONE & TWOクラブ指定の物とする。(P17別図参照)

(オートポリスにて販売されているサイズと書体とする。)

また、車検通過後であってもオフィシャルより判読しづらいと判定された場合、修正しなければならない

4. その他重要事項

変更、改造に関して危険な突起、取り付け箇所があり走行に不相当と判断された車両については、出走を拒否する。

◆2サイクルエンジン仕様の車両

1. フレームの構造を変更しなければすべて可とする。2本ショックを1本ショックのすることは可とする。
《注》エンジン乗せ換えについては、加工なしで交換できるものを可とする。
2. スリックタイヤの使用禁止。
3. レース専用エンジンの使用禁止。
4. 音量は105dbとする。(レース終了後は+5dbまで認める)

OVER40・50・60クラス

1. 出場車両および改造限度

- 出場車両は124cc以上のオンロード車とする、その他の制限は設けない。
- スリックタイヤ及び、レーシングレインタイヤの使用は可とする。

2.その他重要事項

- 走行に不適当と判断された車両は出場を拒否する場合がある

開催クラス

1. 総合車両規定及びMFJ規則に合致している車両。

エキスパート
オープン205
オープン210
オープン215
オープン220
OVER40
OVER50
OVER60

★タイムレースの内容は下記の通り

エキスパートクラス・・・2分 5秒以内のクラス
オープン205・・・・・・・2分 5秒以上のクラス
オープン210・・・・・・・2分10秒以上のクラス
オープン215・・・・・・・2分15秒以上のクラス
オープン220・・・・・・・2分20秒以上のクラス

※エキスパートとは4サイクル400cc以上2サイクル400cc以上の車両

2. オープン205／210／215／220参加資格特記事項

- (1) オープン220・・・オートポリスサーキットにおけるオートバイレースで予選、決勝を通じて過去に2分20秒未満のラップタイムを記録したことのあるライダーは参加できない。
- (2) オープン215・・・オートポリスサーキットにおけるオートバイレースで予選、決勝を通じて過去に2分15秒未満のラップタイムを記録したことのあるライダーは参加できない。
- (3) オープン210・・・オートポリスサーキットにおけるオートバイレースで予選、決勝を通じて過去に2分10秒未満のラップタイムを記録したことのあるライダーは参加できない。
- (4) オープン205・・・オートポリスサーキットにおけるオートバイレースで予選、決勝を通じて過去に2分 5秒未満のラップタイムを記録したことのあるライダーは参加できない。
- (5) 上記事項において不正が発覚した場合には、理由の如何を問わず失格とする。

3. 繰り上げ規定

- (1) 予選において各クラスタイム以内で走行の場合には当該タイムクラスの決勝クラス出場となる場合や表彰対象外となる場合がある。
- (2) また、当該決勝レースにて基準タイム以内でチェッカーを受けた場合には暫定表彰の対象外となる。予選または決勝にて、基準タイム以内でのライダーには、次回より当該クラスへの参加を薦める場合や表彰対象外となる場合がある。
- (3) (1)、(2)の項目は全て主催者の判断により行う。
- (4) 故意に上限を下回らないような走行をしていると主催者および審査委員会が判断した場合には失格となる場合がある。

ピットクルーについて

ピットクルーはライダーを補佐し、レースを円滑に進めるレースにかかせない重要な役割を負っている。ライダーに代わって必要な情報を得たり、事務手続きをするなどマネージャー的な役割や、レースの作戦を立てる監督的な役割、直接マシンの調整・修理をするメカニックまで、様々な立場の人がピットクルーライセンスを取得してレースに参加している。実際にレースにおいてピットクルーとして登録し作業する際には、下記のことに注意しなければならない。

1)ピットクルーの登録

- ①基本的には下記の人数のピットクルーが登録可能である。

ONE&TWOフェスティバル大会特別規則での承認競技会:4名以内

②ONE&TWOフェスティバルにおいては最低1名のピットクルーを登録することが義務付けられている。これはライダーが負傷した場合、帰りの交通手段の確保や病院での手続き、家族への連絡が必ず必要となるためである。

2)ピットクルーの登録と変更・追加

ピットクルーはエントリー用紙のピットクルー登録欄に記入し、登録する。いったん登録したピットクルーは選手受付時に変更することは可能だが、申請人数より追加することはできない。変更手続き料1,000円/1名が必要となる。

3)ピットクルーの服装

安全上、長ズボンを着用すること。ロードレースのピットロードやスタート時にエンジン始動を手伝うとき、半ズボンやサンダル履きは禁止。品位ある服装にすること。

4)ピットクルーの立ち入り範囲

ピット作業エリアとピットサインを出すプラットフォームに入ることが出来る。

※ONE&TWOフェスティバルでは、MFJ国内競技規則ピットクルーライセンス者のみ、ピットロード、ピット作業エリアに入ることが出来る。(別図参照)

5)ピットクルーの遵守事項

全てのピットクルーは、自らの参加する競技に関する規則を熟知していなければならない。また、安全に対する認識を持っていること。

- ①ピットロードにおいては、ピットイン・ピットアウト車輛に十分注意すること。また、無資格のゲスト等がピットロードに出ないように注意する。
- ②火器に注意する。特に喫煙は指定の場所で行うこと。
- ③スタート進行時は、スタートが遅延しないよう作業すること。時間がきたら速やかにコース外に退去すること。
- ④メカニックは特にブレーキ系とオイル周りの安全対策を常にチェックすること。

6)ペナルティ

ピットクルーが犯した行為に対するペナルティはそのピットクルーが登録されているライダーに対して与えられる。

7)レース運営への協力

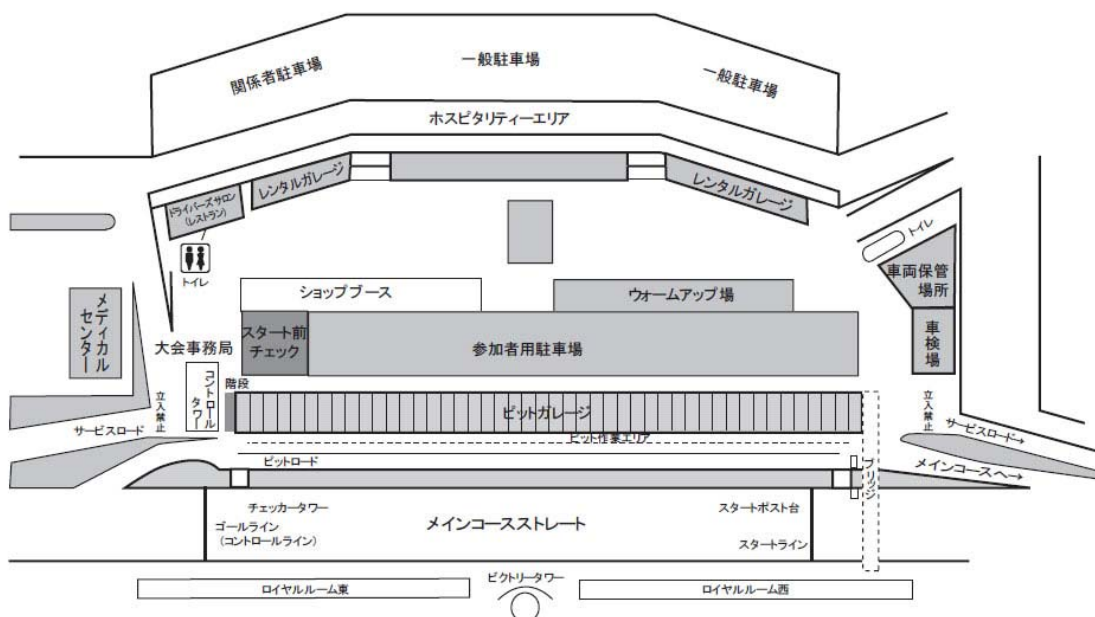
ライダーが黒旗を掲示された場合は、ピット側に向けてもそれを掲示するので、ピットサインでもその状況を伝え、早急に停止するよう伝達する。

特にオイルを撒いて走行している時や、部品が脱落しそうな場合は他のライダーに大きな危険を及ぼすので、各自緊急時のサインを取り決めておくこと。

8)MFJスポーツ傷害基金

MFJピットクルーライセンス料には、年間のMFJスポーツ傷害基金掛金が含まれています。このMFJスポーツ傷害基金見舞金制度は、当該ピットクルーが正式に登録され、参加する大会の公式期間中に発生した事故等に対して適用されます。(MFJ国内競技規則のピットクルーライセンス者のみ)

オートポリスサーキット パドックエリア



- (注) 1. レース当日は、ウォームアップ場以外でのエンジン始動は禁止。
2. パドックエリアでのレーサー、スクーター、エンジンの付いた乗物での走行禁止。
3. 上記のパドック図は、都合により変更する場合があります。

ナンバープレートについて

1. モーターサイクルのフロントとシートカウルの両サイドにゼッケンナンバーが装着され、観客とオフィシャルが明白に認識できるようにしなければならない。さらに、モーターサイクルのいかなる部分、またはライダーが自分のシートに座ったときに体で隠れてしまわないようにしなければならない。
2. ナンバープレートの数字の間に穴を開けることが出来る。しかしどのような状況においても数字自体に穴を開けてはならない。穴のどの部分も規定の色に見えなくてはならない。
3. ナンバープレートを取り付ける場合、長方形で頑丈な材質で出来ていなくてはならない。最低寸法は幅275mm×高さ200mmとする。また、別個のナンバープレートを装着する代わりに、ボディまたはフェアリング両サイドに同寸法のスペースをつや消しでペイントするかあるいは固定してもよい。
4. 数字ははっきり読めるように、また太陽光線の反射を避けるために、地の色同様につや消しでなければならない。
5. 数字の最低寸法は下記の通りとする。

フロントゼッケン、サイドゼッケン、リアカウルトップゼッケンの寸法は

最低高 : 140mm

最低幅 : 80mm

数字の最低の太さ : 25mm

数字間のスペース : 15mm

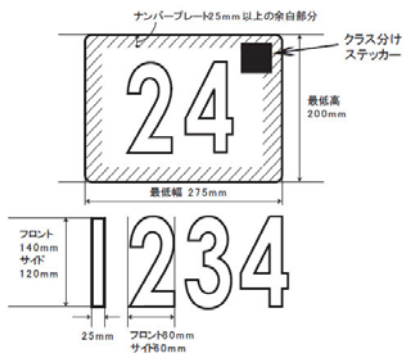
サポートゼッケンの寸法は

最低高 : 120mm

最低幅 : 60mm

数字の最低の太さ : 25mm

数字間のスペース : 15mm



Futura Heavy
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

- 数字体はガムテープやビニールテープ等の 暫定的なものであってはならない。
- フロントゼッケン左上に主催者が配布する クラス分けステッカーを貼ること。

6. 数字の字体は、Futura-Heavyを基準とするゴシック体とする。また、影つき数字などは認められない。(オートポリスで販売されているゼッケンを推奨します。)
7. 正規のナンバーと混同する恐れのあるその他のナンバープレート、またはマーキングは競技会の開始前にすべて取り外されなくてはならない。
8. すべてのナンバープレートの周囲と数字の間には最低25mmの余白が残され、ここにはいかなる広告も表示されてはならない。
9. ナンバープレートの地色及び数字の色は特に定めないが、地色と数字の蛍光色は禁止とする。ナンバープレートの地色は、単色でなければならない。
10. ナンバー及びナンバープレートの明瞭度に関して論議が持ち上がった場合、車検長の決定が最終的なものとする。
11. この規定に適合していないゼッケンナンバー及びプレートを装着しているモーターサイクルは、車検長によりレース参加の許可を得ることが出来ない。

ゼッケンナンバー

1. 主催者によってナンバーが割り当てられ、参加受領書に記入して通知される。
2. ゼッケンナンバーは、車輛検査までに、規定の書体及び色分けで記入しておかなければならない。

3.ゼッケンナンバーについては、車両検査時に検査され、判読しにくいと判断された場合には修正が要求される。ゼッケンの修正を要求された場合、速やかに修正を行い、再度車両検査を受けなければならない。また、車検通過後であっても、計時、ポストマーシャル等オフィシャルによって判読しづらいと判断された場合、修正しなければならない。適合していないゼッケンナンバー及びプレートを装着している車両は、レースの出走が出来ない。

ワイヤーロック・割リピン・ブロー防止参考例

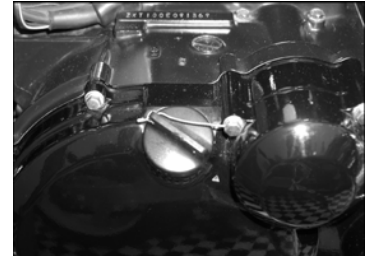
注意！！ ATTENTION！！ ワイヤーロック・割リピンは確実にに行ないましょう



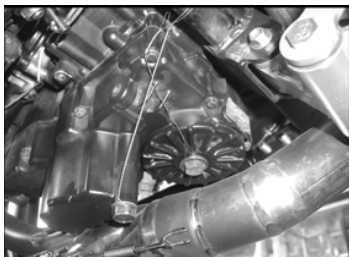
ワイヤーロック例：フロントフォーク



ワイヤーロック例：ブレーキキャリパー



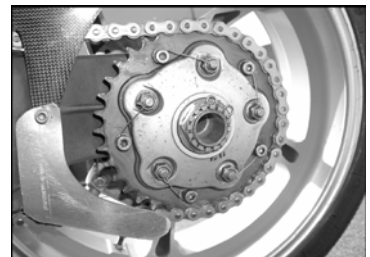
ワイヤーロック例：オイルフィルターキャップ



ワイヤーロック例：オイルドレンボルト



ワイヤーロック例：オイルエレメント



ワイヤーロック例：スプロケットナット



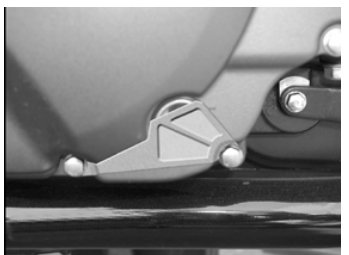
ワイヤーロック例：マフラージョイント



ホイールナットロック



オープントランスミッションガード
(取付はボルト締めとする)



ブロー防止：オイル点検窓
(製造されて10年を超えた車両)



ワイヤーロック例：マフラージョイント部



ワイヤーロック例：マフラージョイント部

ゼッケンプレート参考例



フロントゼッケンの一例



サイドゼッケンの一例



サイドゼッケンの一例



サイドゼッケンプレートの一例



リアカウルトップゼッケンの一例

上記ゼッケンプレート、枠取りは一例です。

規則書をよく読み取り付けましょう。

また、取り付けの際ボルトやナットの緩みには十分気を付けましょう。

X-GATE エクストリーム ゲート オブ ストリート バイク (EXTREME GATE OF STREET BIKE)

X-GATE(EXTREME GATE OF STREET BIKE) (レース入門クラス)

ONE&TWOフェスティバル(レース)と同時開催し、参加車輛にゼッケンとタイム計測器を付け、走行するものです。走行会の進行方法もレースと同じく、予選(1回目の走行)、模擬決勝(2回目の走行)のスタイルをとり、模擬決勝はコース上のグリッドにつき波状スタートします。

この様に、レース開催日に実際のレースに出場するような超リアルな体験ができる走行会です。

開催日 2011年4月17日(日)・10月16日(日) ONE&TWOフェスティバルと同時開催

●エントリー条件

X-GATEにエントリーできる条件として、ONE&TWOクラブ走行会に参加経験が有る方のみとなります。

(※全国各サーキットにてのレース経験者、MFJ選手権レース及びオートポリス自己ベスト2分20秒以内で走行できる方は参加出来ません。)

●エントリー料、エントリー方法

13,000円(オートポリス見舞金制度掛金含) 通常の走行会と同じく、ONE&TWOクラブショップを通じてのエントリーとなります。

エントリー締切りは、ONE&TWOフェスティバル各大会日程と同じ。

●エントリー台数

60台限定

●走行回数

予選・決勝(約7ラップ)

1回目の走行タイムで、2回目のグリッドを決定します。

2回目は、タイム順にグリッドにつき、波状スタートします。

タイム測定は、全ラップ計測。ラップチャートは、走行後事務局にて、発信器返却時に配布します。

●車輛規定

125cc(ベース100cc、12インチ)以上のモデル。

245cc以上のロードモデル。

主催者が認めた場合上記限りではない。

・タイム計測を行いますので、ゼッケンが必要となります。(ゼッケン番号は事務局よりショップへ連絡。)ゼッケンは、フロントカウルとリアカウルの左右に貼り付けます。ゼッケンが判断しづらいと主催者が判断した場合は、ゼッケンの張り替えをしていただく場合があります。

ゼッケンベース色については指定なし、蛍光色を除くゼッケンと対照色であれば自由。ゼッケンはオートポリス受付にて販売している物を使用して下さい。

ヘッドライトの付いている車輛はライトを消灯し、フロントカウルへゼッケンベースを貼って下さい。

(ヘッドライト消灯スイッチが無い場合、バルブのコネクターを外す等し必ずライトを消灯してください。)

ゼッケンのサイズは、ONE&TWOフェスティバル大会特別規則書と同じです。

・オイルドレンボルト、オイルフィルターのワイヤーロック。

・オイルキャッチタンクは、ノーマルエアクリーナーボックスを外している車輛は必要です。

・スタート前チェックで、サイドスタンドをタイラップで固定します。なお、事前に固定・取り外しも可能です。

(メインスタンドは必ず外して下さい。)

・スタート前チェックにて、不備がある場合、走行出来ないことがありますので、マシンメンテナンスをきちんと行ってください。

・詳細は行きつけのONE&TWOショップにてご確認下さい。

ONE&TWO CLUB SHOP LIST

福岡県	萩尾商会	818-0054 筑紫野市杉塚 2 丁目 14-1	092-922-9082	
	ヴァイタル スピリット	839-0814 久留米市山川追分 1 丁目 1-20	0942-44-3990	
	●グランドオート ヨシムラ	816-0855 春日市天神山 3 丁目 33	092-591-2155	
	(有)タジマエンジニアリング	815-0073 福岡市南区大池 1 丁目 9-6	092-511-3931	
	モーターランドフジモト	812-0892 福岡市博多区東那珂 2 丁目 7 番 27 号	092-411-0784	
	タイヤショップ ランドナー	813-0003 福岡市東区香住ヶ丘 2-7-8	092-672-4533	
	●(有)ダブルエーピー	813-0036 福岡市東区若宮 5 丁目 16-48	092-671-2737	
	(株)ホンダショップ ライフ	802-0971 北九州市小倉南区守垣本町 3 丁目 1-11	093-963-0800	
	(有)モトボーイ	836-0802 大牟田市日出町 3-2-1	0944-57-7781	
	能塚モーターズ	830-0063 久留米市荒木町荒木 1962-32	0942-26-6161	
	カワサキショップ ライダース	813-0044 福岡市東区千早 4 丁目 7-1	092-672-7901	
	(有)ライダースパーク・ウイズ	811-3218 福津市手光南 1 丁目 4-12	0940-43-1253	
	ペガサス	814-0164 福岡市早良区賀茂 1-11-5	092-864-0928	
	VISION RACING SUPPLY	816-0063 福岡市博多区金の隈 2 丁目 23-36	092-513-3444	
	YSP 久留米	839-0863 久留米市国分町 1949	0942-21-2043	
	BLAST	811-2202 粕屋郡志免町志免 2 丁目 9-3	092-516-8429	
	テクニカルファクトリーランナー	830-1214 三井郡大刀洗町栄田 1338-8	0942-77-3044	
	熊本県	N. WORLD	864-0013 荒尾市上井手 848-2	0968-66-2421
		RIDER'S-K	860-0862 熊本市黒髪 5 丁目 10-3	096-343-7480
		●モト・スポーツ ヒロセ	862-0963 熊本市出仲間 7 丁目 14-1	096-379-8355
		(株)アール. エス. シー	869-1231 菊池郡大津町大字平川 1784-1	096-293-3505
		(有)オートショップ ドリーム	869-1101 菊池郡菊陽町津久礼 158-16	096-232-3417
		HOT SPEED	861-4112 熊本市白藤 1 丁目 27-12	096-357-7178
(有)ミスターバイク		864-0032 荒尾市増永 1790-1	0968-69-1189	
佐賀県	モトショップ RED	841-0056 鳥栖市蔵上 1 丁目 179	0942-83-8105	
	UENO R&D	849-0201 佐賀市久保田町徳万 1994	0952-68-2666	
	Hot Kind	840-0202 佐賀市大和町久池井 2769-1	0952-62-7155	
	M' O' D ZAP	840-0013 佐賀市北川副町新郷 40-7	0952-28-1839	
	●ステップワン	849-0917 佐賀市高木瀬町長瀬 1987-1	0952-30-8908	
	バイクショップ アドバンテージ	849-1106 杵島郡白石町廿治字三本杉 1225-1	0952-84-4123	
	モトショップ ニシムラ	840-0854 佐賀市八戸 1 丁目 3-13	0952-41-8007	
長崎県	エクステリアサービス	840-1105 三養基郡みやき町寄人南里ヶ里 2317-2	0942-96-4800	
	●PRO・SHOP フリーフライト	852-8034 長崎市城栄町 1-16	095-846-8080	
	バイクロード	859-3242 佐世保市指方町 2491-1	0956-58-5857	
	(有)昭和ホンダ商会	852-8145 長崎市昭和 1 丁目 13-6	095-844-5040	
	(有)オートハウス アツ	851-2105 西彼杵郡時津町浦郷 136-5	095-886-8177	
モーターランドササモト	852-8041 長崎市清水町 21-57	095-844-3926		

	(有)モトドッグキムラ	859-3215 佐世保市早岐 1 丁目 16-17	0956-39-1098
宮崎県	岡田モーターズ	889-1414 児湯郡新富町富田南 1 丁目 89	0983-33-2215
	●WHEELIE CO.,LTD.	880-0043 宮崎市大字上北方 24-1	0985-27-7785
	フジタファクトリー	880-0045 宮崎市大字大瀬町 2435-1	0985-41-2625
	(有)ティーケイ計装システム 二輪部	882-0846 延岡市中島町 2-174-12	0982-22-7329
大分県	ウエハラモーターサイクル	877-0008 日田市丸山 1 丁目 3-39	0973-22-4772
	●バイク家ロシナンテ	870-0268 大分市政所 2109-4	097-592-6410
	(有)サンタバイク	870-1155 大分市玉沢 55-1	097-542-0303
	うかれ亭	877-0312 日田市上津江町オートポリスゲート前	0973-55-1466
鹿児島県	(株)バイクハウス 加治木店	899-5241 始良市加治木町木田 941-1	0995-63-0747
	(有)フォーラム	890-0055 鹿児島市上荒田町 13-14	099-258-1054
	バイクランド	899-4304 霧島市国分清水 1-3-2	0995-45-8040
静岡県	(株)ヒョウドウプロダクツ	435-0042 浜松市東区篠ヶ瀬町 1044-2	053-465-8281
三重県	(株)モリワキエンジニアリング	513-0825 鈴鹿市住吉町 6656-5	0593-70-0090
神奈川県	アサカワスピード	227-0031 横浜市青葉区寺家町 603-2	045-961-9622
	(株)ヨシムラジャパン	243-0303 愛甲郡愛川町中津 6748	0462-86-0321

● 印は地区事務局です。ONE & TWOフェスティバルに関するご意見ご質問がある場合は、
最寄りの事務局にお問い合わせください。

問い合わせは午前9:00～午後5:00までに。

■ ONE & TWOフェスティバルレース受付事務局

モト・スポーツヒロセ 〒862-0963 熊本市出仲間7丁目14-1

TEL.096-379-8355 FAX.096-379-8366

■ 開催会場

オートポリスサーキット 〒877-0312 大分県日田市上津江町上野田1112-8

TEL.0973-55-1111 FAX.0973-55-1113

AUTOPOLIS International Racing Course Observation Post

